



雲の上に 鳴きつる雁の 寒きなへ 萩の下葉（したば）は もみちぬるかも

巻8-1575 高橋安麻呂

雲の上で鳴いている雁の声が寒々と感じられる。折も折、お屋敷一帯の萩の下葉はすっかり色づきましたね。なんと見事なことでしょう。

秋の夜長を読書でゆっくりしては！

秋が一段と深まり、朝夕はめっきりと冷えを感じる頃となりました。あたりを見渡すとイチヨウやケヤキが黄色に、サクラやナンキンハゼが赤く染まって深まりゆく秋を色鮮やかに演出しています。学校・園においては、2学期前半には、運動会・体育大会を中心に、様々な学校行事や園行事が行われ、子どもたちがこれまでに培ってきた力を精一杯発揮し、充実した生活を送ってきたように思います。子どもたちは、学校・園行事を経験するたびに大きく成長しています。何かをやり遂げた後の快い疲れとともに達成感や成就感といった満足感がきつと昨今の子どもたちの課題でもある自己肯定感や自尊感情の高まりに大きくプラスしたのではないかと思います。

さて、2学期もいよいよ後半に入り、子どもたちにとっては学校・園での文化的な行事である発表会・芸術鑑賞会・文化祭・コーラスフェスティバルなどがあり、これまでと同様に集中して取り組むとともに芸術の秋を満喫する時期でもあります。

そのような中、ちょうど今、10月27日から11月9日までの文化の日を挟んだ2週間が秋の読書週間となっています。終戦後の1947年、日本出版協会、日本図書館協会、取次・書店の流通組織、その他報道・文化関連団体30余りが参加して「読書週間実行委員会」が結成され、11月17日から11月23日までの第1回「読書週間」が行われました。しかし「一週間では惜しいし短い」ということで、2回目からは、現在のように2週間の期間で続いています。

本町のすべての小中学校では、朝読として、朝の会前後の10分間程度を読書の時間に当てています。各自が持ってきた読みたい本や図書室で借りた本などを真剣に読んでいるようです。最近の子どもたちは「活字離れが進んでいる」とよく耳にしますが、本町の子どもたちは短い時間の中でも、真剣に読書に集中している姿は本当にすばらしいし、読書を通じて読解力や集中力も培われるすばらしい取組だと思います。

この読書習慣に合わせて2年前から、小中学校すべての子どもたちに担任や教科の先生の指導で読書感想文を書いてもらい、応募作品として優れた作品には、町長賞、教育長賞、図書館長賞として表彰しています。

また、子どもたちだけでなく、大人の方々にも本に親しむ機会をつくるために、身近に本があり、本を通じて人がつながる、まちじゅうに本がある町を目指す取組として、今年度から町立図書館が主催する「まちじゅう図書館」を展開しています。図書館

の蔵書を設置したり、寄贈本を活用したりして、イズミヤショッピングセンターや役場2階、広陵元気号、だかし屋3サン堂、馬見北5丁目自治会館に本を設置しました。まちじゅうに本が溢れ、いつでもどこでも本と親しむことができる、そんな素敵なまちにしていきたいと考えています。

皆さん、自分が好きなこと、興味があること、関心をもっていること、値れていることなどの本を選ぶことで読書が進むと思います。例えば、私のように昆虫に興味があればその本を選び、スポーツ選手で好きな人がいればそのスポーツに関する本を選んだらいいのではないかと思います。好きなものであれば最後まで読むことができます。読書する人は学力も高くなると言われています。今年の読書週間の標語は「この一行に逢いにきた」です。どうか秋の夜長をゆっくりと読書に浸り、充実した日々を過ごしていただければと思います。

教育委員会の取組

第63回広陵町文化祭を開催しました！

11月2日(土)から4日(月)までの3日間、中央公民館と中央体育館において、第63回となる文化祭を開催しました。2日の午前9時30分からかぐや姫ホールにて開会式を行いました。山村



町長の開会あいさつ、来賓の祝辞をいただいたあと、前回に続いて、広陵中学校・真美ヶ丘中学校の生徒を対象に募集したデジタルアートによる文化祭ポスターデザインの表彰を行いました。数多くの応募作品の中から厳正な選考を行い、最優秀作品には広陵中学校の中津慶音さんの作品を、また入選作品10点を選定して表彰式を行いました。その後、オープニングイベントとして畿央大学書道部「和さび」による書道パフォーマンスをステージで披露していただきました。6人の部員が一筆一筆丹念に墨をたっぷり含ませて勢いよく筆を滑らせ、秋真っ盛りをイメージする見事な『錦秋』と『龍胆(リンドウ)』を書き上げていただきました。



午後からは、文化講演会として、「NHKの大河ドラマ『光る君へ』の世界を楽しみましょう」という目的で、「平安時代と紫式部」と題してテレビ出演も多い、西大和学園中・高等学校の浮世博史先生に楽しくとてもわかりやすい講演をしていただきました。特に、皇室と藤原氏との関係、道長・頼通父子で摂関政治の最盛期を築いたこと、国風文化として国文学が誕生した背景や貴族の生活様式について、そして、源氏(裏面へ)



物語にみる天皇や貴族社会の関係などは、目からうろこ状態で本当に面白おかしく興味津々で聞かせていただきました。

中央体育館では、2日～4日の3日間通して文化展覧会が開かれ、絵画、書道、俳句、俳画、短歌、写真、華道、陶芸工芸など17部、470点の力作が展示されていました。また、中学生絵画展や中学生ポスターデザイン展、そして箸尾準工業地域(井床・観音堂遺跡)から出土した土師器や須恵器などの文化財発掘速報展、日本の伝統文化に触れる茶道野点もアリーナ内で行われました。体育館格技場では、保育園・幼稚園・こども園に通う園児の作品展があり、運動会やいも掘り、ハロウィンなど園行事で心に残った情景を絵で表現した作品を多くの保護者や祖父母の方が見に来られ、一つ一つの作品にじっくりと見入っておられました。

3日の10時から、かぐや姫ホールで中央公民館活動発表会が行われ、広陵中学校吹奏楽部をはじめ、フラダンスやコーラス、お琴、尺八、日本舞踊、詩吟、居合道など、中央公民館を中心に活動されている個人・団体の発表がありました。

互いに親睦と交流を深めながら、日頃の活動の集大成として、これまで以上に、気合いが入ったすばらしいパフォーマンスをしていただきました。

4日は、参加体験型教室として、中央公民館内の各部屋や駐車場特設テントでは、ヨガ、詩吟、着付け、お琴、尺八、文化財ガイドの会による鑄造体験などが行われました。この3日間を通して、数多くの方がこの文化祭に足を運んでいただきました。

学校の運動会・体育大会 写真集

小学校の様子

今年の秋も各小学校で運動会・体育大会が開催されました。昨年までは、新型コロナと、熱中症対策の関係で開催日がバラバラだったのですが、今年度から統一した開催日として、10月26日(土)となりました。当日は雨の心配もありましたが、朝から曇り空の中、暑くもなく過ごしやすいい日となりました。

町内すべての小学校を見たい想いから真美ヶ丘第二小学校から順次回り参観しました。

真美ヶ丘第二小学校 太陽よりかがやけ☆主役はみんなだ!!



真美二小開会式の様子 中学年・真美二には仲間がいるよ

真美ヶ丘第一小学校



4年生・リレー

輝け 光真笑力(ひまわり)!



6年・Let's Enjoy 6優!!

広陵西小学校 心の炎を燃やせ 白熱の競技を 繋げ絆のバトン 輝け☆黄組



後半の部・児童宣誓



4年・綱引き よーいドン!

広陵北小学校

4色輝け! 北小運動会



6年・安心してください 借りられますよ

1年・かけっこ

広陵東小学校

最後まで 全力を出し がんばろう

校長先生のコメント

低中高学年に分かれて行った演技は難しい振り付けをしっかり覚え、体をいっぱい使って表現してくれました。どれも素晴らしい演技でした。

5・6年 数分間のエールを

中学校の様子

今年から熱中症対策として、2週間遅らせた10月23日(水)に開催されました。天候の関係で広陵中は23日に、真美ヶ丘中は24日(木)に実施されました。

広陵中学校



綱引き



1000mリレー

真美ヶ丘中学校



2年・ムカデ+玉入れ



全学年・ハコはこペー